

富山県成長戦略会議「人口未来戦略」提言への対応

令和 6 年11月21日
知事政策局

1 富山県成長戦略会議「人口未来戦略」検討の経緯

- ・これまで、人口減少が進む中、関係人口の拡大により、成長戦略のビジョン「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現に向けた戦略を議論
- ・定住人口の減少を抑制する対策等と併せて、関係人口の拡大・深化と定住人口減少抑制の好循環の創出を目指す。



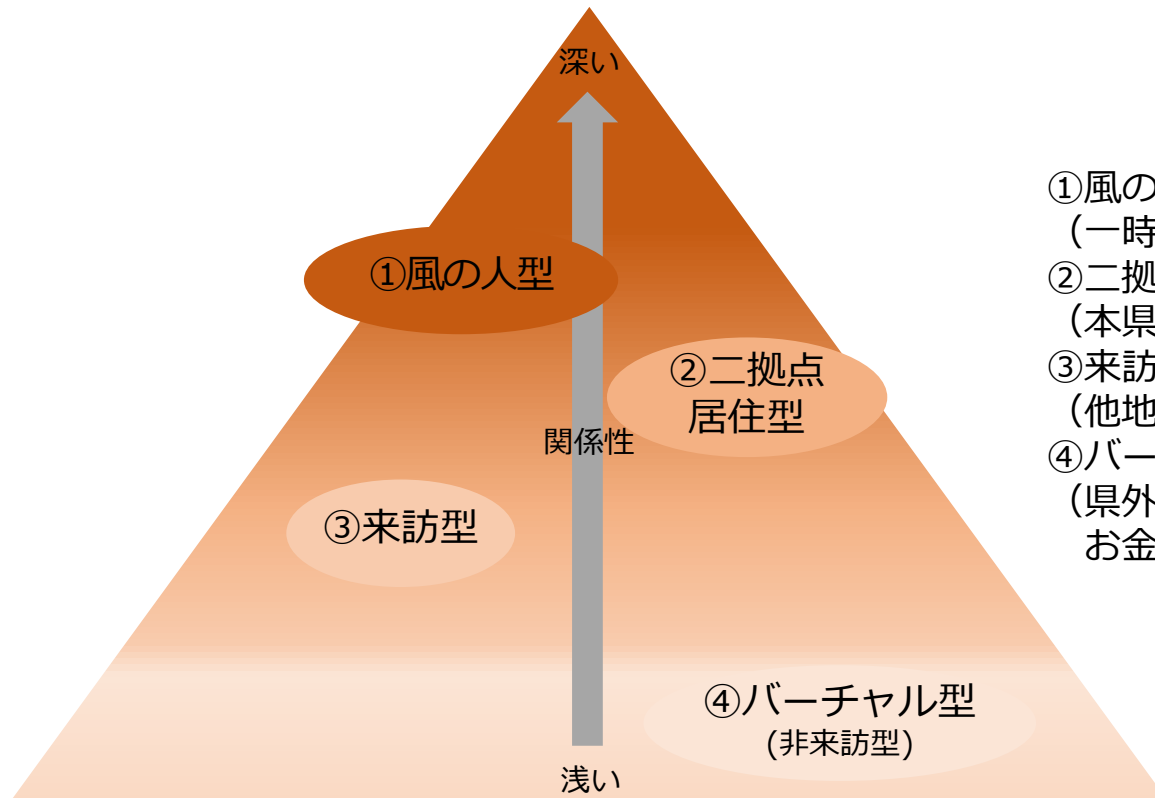
なぜ、関係人口を増やすのか（成長戦略会議での議論）

○人口減少が急速に進展する中で、定住人口の減少による社会課題（地域活力の縮減、地域コミュニティの縮小、地域文化の縮減など）に対応し、人口減少下においても、県民の安心で豊かな暮らしを確保できる。

○関係人口の外部目線による富山の評価や、関係人口と地域住民との連携・協働が、定住人口減少の悪循環の根源となっている地域卑下の伝統や域内同調圧力を打破し、シビックプライドを高めるほか、寛容性の高い地域を創出し、多様な人材の出入りの活性化につながり、若者の流出や子どもを持つことへの自制を防ぐことにもつながる。

2 関係人口の拡大・深化に向けて実施すべき施策概要

関係人口を、①風の人型、②二拠点居住型、③来訪型、④バーチャル型（非来訪型）の4つの類型に分類



- ①風の人型
(一時的な居住経験があり、その後行き来する人)
- ②二拠点居住型
(本県と他地域に拠点をもち、行き来する人)
- ③来訪型
(他地域から訪れる人)
- ④バーチャル型
(県外にしながら、ふるさと納税や特産品の購入など、
お金や物を媒介してつながる人)

3 行動変容のための戦略仮説

癒しの環境	仮説モデルA	「癒しを求める三大都市圏のビジネスパーソンとその家族」をターゲットに、心身を再生できる「癒しの環境」を訴求し、「来訪型」「二拠点居住型」の関係人口を創出する
	仮説モデルB	「癒しを求める海外のデジタルノマド人材」をターゲットに、心身を再生できる「癒しの環境」を訴求し、「来訪型」の関係人口を創出する
子育て・教育環境	仮説モデルC	「富山への転勤者やその家族」をターゲットに、こどもまんなか社会を掲げる本県の「子育て・教育環境」を訴求し、「風の人型」の関係人口を創出する
	仮説モデルD	「過熱する受験競争など都会の子育て・教育環境に違和感を持つ都市部の保護者」「子育てと仕事の両立を望む子育て世代」をターゲットに「子育て・教育環境」の選択肢を広げ、訴求することで、「来訪型」「二拠点居住型」の関係人口を創出する
魅力的なネットワーキング人材	仮説モデルE	「コミュニティに属している人」をターゲットに、カリスマ的な県内事業者や恵まれたスポーツ環境など「人・コトの魅力」を訴求し、「来訪型」の関係人口を創出する
多様な産業集積	仮説モデルF	「ヘルスケア・医療・半導体などの富山県の産業集積に関わりのある企業」をターゲットに、工業立県としての「産業クラスター集積のメリット」を訴求し、「来訪型」の関係人口を創出する

4 成長戦略会議「人口未来戦略」提言を受けた検討状況と今後の方針

10月4日 富山県成長戦略会議「人口未来戦略」提言・公表

11月11日 予算編成方針発表

予算編成方針のポイント①

2 人口未来構想・「人口未来戦略」提言の推進

〔 既存事業見直し額の2倍を要求枠として設定 〕

- ・人口減少を抑制する対策
- ・人口減少下においても社会を維持していく対策
- ・関係人口の創出・拡大に向けた施策 など

人口減少対策を総合的・効果的に推進
関係人口の創出・拡大との好循環を創出

(1) 令和7年度当初予算への反映

提言を踏まえ、施策設計図を用いて事業を検討し、早期に実現可能なものは令和7年度当初予算へ反映

(2) 継続的に検討が必要なものへの対応

県内の関係団体や業界との調整や連携が必要なものなど、中長期的に取り組むべきものについても、引き続き、検討